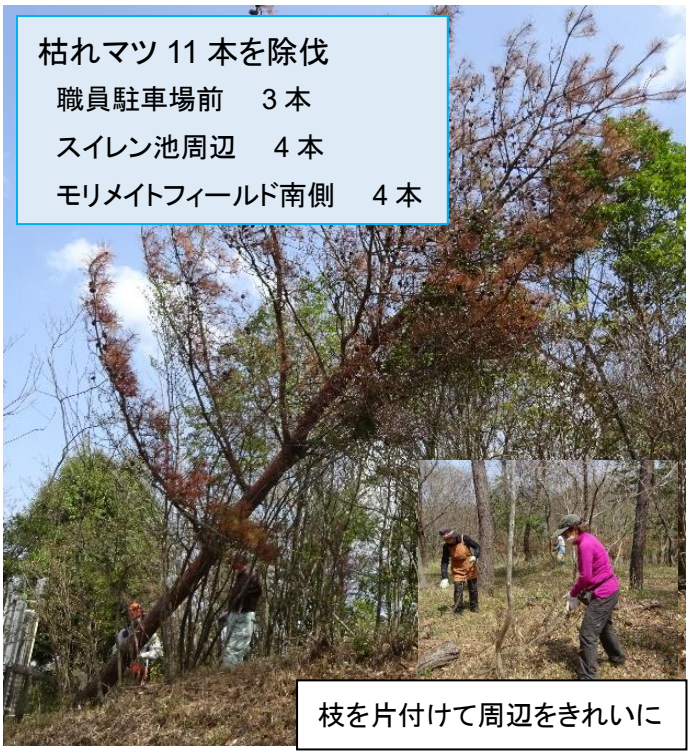
モリメイトの里山づくり

モリメイト通信

発行 2021 年 4 月 30 日
通算 223 号
三重県上野森林公園モリメイト
本気で遊ぼう！モリメイト

4 月 1 日（木曜日） 桜が満開！ 贅沢な時間を過ごす

【参加者：池本幸、池本美、梶川、北、芝田香、芝田美、杉、鈴木哲、鈴木明、中　10 名】



陽だまりの丘の桜が満開になった。丘の上までのぼり青い空を仰ぎ、桜を見下ろしながらの贅沢なランチタイム。お弁当がいちだんと美味しく感じられた。

昼食後、シイタケランドへ。3月下旬の雨でたくさんのシイタケを収穫することができた。

今日から池本美都代さんがモリメイトに参加

4 月 8 日（木曜日） 春を感じながら枯れマツ伐り

【参加者：越智宏、梶川、北、芝田香、鈴木哲,中　計　6 名】

女性陣は、森林公園の竹やぶ整備で出る竹を利用したいと「ほうきづくり」の研修会に参加するための準備で、越智さんと鈴木さんの家で竹枝を集め揃える作業を行った。

そこで、この日は男性だけで枯れマツの除伐を行った。

モリメイトフィールド、観察広場、7 番東屋周辺で 30 本程度除伐。長い枯れ草や茨がはびこる足場の悪い傾斜地では安全を確かめ慎重に作業を行った。

作業している足元でハルリンドウやショウジョウバカマが春のやさしい光を浴びて咲いているのを見つけふと微笑む場面があった。森林公園が整備されていくにしたがって、年々ハルリンドウが増えていっているのを感じる。

4 月 15 日（木曜日） 花菖蒲の移植を終える
小川に橋が架かり安全に通れるようになる

【参加者：池本幸、池本美、越智宏、越智美、梶川、北、木谷、芝田香、芝田美、鈴木哲、鈴木明、中　　計 12 名】

「花菖蒲を移植する」チームと「小川に橋を架ける」チームに分かれ作業を行った。

モリメイトフィールドの西へ流れていく小川にかかる橋が 2 か所、腐って危険な状態であった。杉林の間伐材の皮を剥いで用意しておいたものを使い、橋を架け替えることにした。

一つは、丸太 3 本をかすがいで固定して設置、もう一つは、3 本の丸太に鉄の頑丈な網を取り付け設置した。女性 3 人が渡り初めをし、安全を確認。

新しい花菖蒲園の両端が空いていたのでの大きな株を分け移植することにした。粘土質の土は、掘りにくくて重く思った以上に重労働であった。6 月、どのくらい花をつけてくれるのか開花が楽しみである。

午後からは、先週に引き続き 7 番東屋周辺の枯れマツを除伐した。木が混みあっているところが多く、倒れる方向にロープで引っ張ることが多かった。

モリメイト会議

主に、森のオリエンテーリング」の当日の流れと役割分担について話し合った。

4 月 22 日（木曜日）木々の芽吹きの中、境界線を歩く

【参加者：池本美、越智宏、越智美、北、木谷、芝田香、芝田美、杉、鈴木哲、鈴木　　計 10 名】

5 年前から毎年、状況を確かめ整備をしながら境界線を歩いている。当時は、地図を頼りに歩くのだが道が分からず迷ったり引き返したり、道なき道をかき分け、笹を刈り、木を伐り、枝を払っていくうちにやっと道らしきものが姿を現してくるという状況であった。年々少しずつ整備し、今では境界線の道がはっきり分かるようになり迷わず歩くことができる。今回も枝を切る程度で木々の芽吹きを見ながら楽しく歩くことができた。

午後はモリメイト花壇に水仙の球根を植え、枯れマツの除伐を行った。